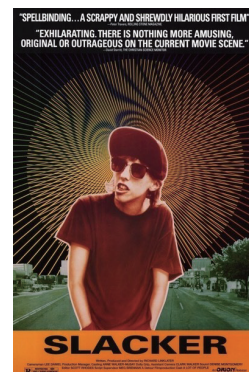


GUCCHI'S FREE SCHOOL

リチャード・リンクレイター 監督
『スラッカー』(1991) 配給について

グッチーズ・フリースクールは、2014年より日本未公開映画の紹介や10本の未公開映画を日本初上映してきました。この度は、『ビフォア』シリーズ、『6才のボクが、大人になるまで。』、そして新作『エブリバディ・ウォンツ・サム!! 世界はボクらの手の中に』のリチャード・リンクレイター 監督の幻の初期作『スラッカー』を配給することになりました。

アメリカン・インディーズ映画の雄として注目を浴び、いまや世界的な映画監督となったリチャード・リンクレイター 監督の劇場デビュー作『スラッカー』は、サンダンス映画祭で絶賛され、90年代以降のインディペンデント映画界に絶大な影響を及ぼした映画史的にも重要作品でありながら、25年ものあいだ日本では未公開の状態が続いてきました。新作『エブリバディ・ウォンツ・サム!! 世界はボクらの手の中に』、そしてリンクレイター 監督その人に迫るドキュメンタリー『21 Years: Richard Linklater』の公開を控える今、『スラッカー』を公開するまたとない機会になると考えております。



リチャード・リンクレイター (監督・脚本・製作)

1960年7月30日生まれのアメリカ映画監督。1985年、大学を中退後に、世界各国の映画の上映やインディペンデント映画の普及などを目的とした非営利機関、オースティン映画協会を設立する。監督としては1988年に『It's Impossible to Learn to Plow by Reading Books』(未)で長編デビュー。長編2作目である本作『スラッカー (Slacker)』はサンダンス映画祭で絶賛され、インディペンデント映画界での評価を上げていく。本作に見られる“1日の出来事を描く”というスタイルは以降も彼の作品に度々登場し、若者たちの一日を描いた1993年監督の『バッド・チューニング』は、青春映画の傑作として高い人気を誇る。

その後、1995年にイーサン・ホークとジュリー・デルビー主演の『恋人までの距離 (ディスタンス)』でベルリン国際映画祭監督賞を受賞。2004年『ビフォア・サンセット』、2013年『ビフォア・ミッドナイト』とあわせ『ビフォア・シリーズ』として日本でもファンが多い。他にもジャック・ブラック主演のコメディ『スクール・オブ・ロック』など幅広い作風を見せ、2014年には、主人公の少年が実際に成長するまでの12年間にわたり撮影を行った『6才のボクが、大人になるまで。』で2度目となるベルリン国際映画祭監督賞を受賞。2016年、最新作である『エブリバディ・ウォンツ・サム!! 世界はボクらの手の中に』が公開。

ジョン・ピアソン (製作代理)

1954年生まれのアメリカの映画プロデューサー。1977年にニューヨーク大学を卒業後、サンダンス映画祭を始めとする様々な映画プロジェクトに参加するとともに、プロデューサーレップとして当時若手映像作家だったスパイク・リー、マイケル・ムーア、ケヴィン・スミスなどの作品を支え、アメリカインディペンデント映画界の先導者としてその発展に大きく貢献した。当時デビューしたばかりのリチャード・リンクレイター 監督と組んだ本作『スラッカー (Slacker)』(非クレジット)では、およそ2万3千ドルという低予算ながらも作品を成功に導き、2016年には同監督の最新作公開を記念して、妻でありSXSW映画祭のフェスティバル・ディレクターであるジャネット・ピアソン氏とともに来日した。

クレジット (Credits)

監督・脚本・製作 / リチャード・リンクレイター
製作代理 / ジョン・ピアソン
撮影 / リー・ダニエル

出演 (Cast)

リチャード・リンクレイター / ケイシー・マッカートニー
ルディ・バスケス / キム・クリザン
テレサ・タイラー / マーク・ジェイムズ
ステラ・ウィアー / ジョン・スレイト
ルイス・H・マッキー

製作年:1991年
上映時間:97分
上映素材:Blu-ray(日本語字幕つき)



リチャード・リンクレイターが監督した『スラッカー』は、テキサスのオースティンに住む風変わりな若者達の生活の一日を描いている。16mmフィルムで撮影された本作の制作費はわずか3000ドル。脚本家・プロデューサー・監督を務めたリンクレイターと撮影スタッフは、型通りの物語ではなく、魅力的な100以上のキャラクターを作り上げることを選んだ。『スラッカー』は90年代アメリカのインディペンデント映画のキーとなる作品の1つである。

Comment

- 独創的で面白く、予想外で絶えず魅力的な作品である。面白く、シュールで不可思議。時には恐ろしくさえある。—— Washington Post
- 誰かのホームビデオを見ているようだが、用意周到な視点には不思議と説得させられる魅力がある。—— Time Out
- 説明するのがほぼ不可能な映画。—— Chicago Sun-Times
- この自由あふれる映画は、テーマを見つけたい一部の観客には優しくないが、リンクレイターのスマートな視点は大いに物語っている。—— Empire online
- 『スラッカー』はニューヨーク映画祭やトロント映画祭には受け入れられなかったが、サンダンス映画祭では4回上映してくれた。1回目のお客さんはとても少なかったが、2回目は半分、3回目には満席になり、4回目は争奪戦だった。我々はリンクレイターの才能に賭けた事が間違いではなかったことに改めて気づかされた。—— マイケル・パーカー (映画プロデューサー)
- 私は若手監督から送られてくる多くの手紙にはめったに返信しないが、何らかの理由でリンクレイターの処女作『It's Impossible to Learn to Plow by Reading Books』は全編観て、熱烈な励ましの返事を書いた。彼は次の長編映画『スラッカー』の資金調達にこの手紙を役立てると言った。私はそれを誇りに思う。—— モンテ・ヘルマン (映画監督)

グッチーズ・フリースクールとは

未公開映画の紹介、上映を企画・運営する団体。2014年『アメリカン・スリープオーバー』/2015年『ウェット・ホット・アメリカンサマー』、『キングス・オブ・サマー』/2016『スラッカー』、『ビヨンド・クルーレス』、『タナーホール』、『ハイスクール マリファナ大作戦』、『ティーンエイジ』、『シスターフッド・オブ・ナイト 夜の姉妹団』、『スペクタキュラー・ナウ』を日本初上映した。

お問い合わせ

HP : <http://gucchis-free-school.com>

Mail : gucchis.free.school@gmail.com Tel : 090-7180-6394 (担当: 降矢)